

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部 港湾課
評価対象期間	平成28年4月1日～令和2年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	別府港北浜ヨットハーバー (愛称:富城ヨットハーバー)	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分県別府市北浜1丁目818-386		
	設置目的	海洋性レクリエーションの振興及び、別府港内の不法係留船の適正係留		
指定管理者	名称	株式会社ササキコーポレーション		
	代表者名	佐々木 勝吉		
	所在地	山口県宇部市港町1丁目13-5		
指定管理業務の内容	①北浜ヨットハーバーの使用許可(工作物の設置を伴うものを除く)に関すること。 ②北浜ヨットハーバーの利用促進に関すること。 ③北浜ヨットハーバーの維持管理及び修繕に関すること。 ④上記に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める業務			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価レベル	得点
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み	40		36
(1)施設の設置目的の達成	20	5	20
①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。			
②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。			
③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。			
④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】 <input type="radio"/> 係船率については、H28年度:69%(目標57%)、H29年度:73%(目標60%)、H30年度:82%(目標63%)、R1年度:82%(目標66%)と各年度目標を大幅に上回った。 <input type="radio"/> 毎年度、小中学生を対象にしたシーカヤック体験など九州UMIアカデミーを開催し、海洋性レクリエーションの振興に積極的に取り組んだ。これまでに131名の参加があった。 <input type="radio"/> 九州UMIアカデミーの実施による施設の広報や、他マリナー等での周知により、係船率の大幅な上昇につながった。			

(2) 利用者の満足度			
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	20	4	16
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】	<p>○ アンケート結果では、スタッフの対応について、9割以上が概ね良い以上の評価となっている。利用者から要望のあった休憩室の設置については、令和元年度から管理棟の2階をくつろげる場として利用者に提供した。加えて、平成30年度からは利用者の意見を踏まえ、メンテナンス事業を開始するなどサービス向上に努めている。一方で、ヨットハーバーに電話をかけても担当者が巡回等で対応できないなどの声が寄せられたが、携帯への転送システムを設定することで対応した。</p>		
2 効率性の向上等に関する取組み	30		22
(1) 経費の低減等	20	3	12
① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。			
② 清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
【評価の理由】	<p>○ フォークリフトの操作について、フォークリフト運転技能講習修了資格を有する指定管理者のスタッフ3名が直接行なうなど、最小限のスタッフで効率的に施設の管理運営を行なっている。</p>		
(2) 収入の増加	10	5	10
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			
【評価の理由】	<p>○ 使用料収入については、九州UMIアカデミーをはじめ様々な取組みにより平成28年度:14,627千円、平成29年度:15,539千円、平成30年度:17,173千円、令和元年度:18,151千円と年々増加した。令和元年度は、指定管理制度導入前の平成27年度の使用料収入12,213千円と比較すると、148%増加している。</p>		
3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み	30		24
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況	15	4	12
① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。			
② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
【評価の理由】	<p>○ 人員は業務状況に応じて適切に配置されており、ゴールデンウィークや夏期休暇期間は増員するなど合理的な管理運営が行われている。(館長1名、スタッフ3名の計4名体制)</p> <p>○ 船舶の引揚げに必要なフォークリフト操縦資格の取得に加え、安全講習会を開催するなど職員の資質・能力向上に努めた。</p> <p>○ 九州UMIアカデミーに参加した生徒を大分県セーリング連盟ジュニア部に紹介するなど、関係団体との連携によるマリンスポーツの振興に努めている。</p>		

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など			
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。	15	4	12
②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。			
③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。			
⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。			
⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			
【評価の理由】 <input type="radio"/> 関係法令の遵守はもとより、個人情報保護条例や指定管理者が定める個人情報の取得や管理に関するマニュアルに基づき、適正な管理を行っており個人情報の漏洩等の事故は発生していない。 <input type="radio"/> 毎月ヒヤリハットミーティングを開催し、全職員に危機管理意識の共有化を図り事故防止に努めている。 <input type="radio"/> 施設利用者の本人確認とリストへの記帳を徹底することで不審者の侵入を未然に防止している。 <input type="radio"/> 職員の防災士資格の取得、避難訓練の実施などを着実にを行い、防災意識の向上に努めた。			

【選定委員の意見】

- 関連法令の遵守のほか、利用者サービスの向上を図る自主事業の着実な実施などにより、目標指標である係船率を大きく向上させている。
- 地域密着型のイベントを開催するなど、別府観光をはじめとした地域振興にさらに貢献するよう取り組んでほしい。

【総合評価】

合計得点(100点満点)	82	評価ランク(A~E)	B
--------------	-----------	------------	----------

【評価の理由】

- 九州UMIアカデミーの実施による施設の広報や他マリーナでの周知等により、目標指標の係船率を大幅に上回る実績をあげた。
- 九州UMIアカデミーの開催や大分県セーリング連盟と連携したマリンスポーツ振興とともに、積極的な広報活動に努めるなど、管理者のノウハウを活かした管理運営が行われている。
- フォークリフト運転技能講習や、ヒヤリハットミーティング等を通じた危機管理意識の醸成などを通じて職員の能力向上に努めている。

【今後の対応】

- 管理運営については、自主事業や地域と連携した事業と展開等により、さらなる係船率の増加やマリンスポーツの振興を期待したい。